

# 鉄道ピクトリアル

2020年8月号 Vol.70 No.8 通巻No.975

〈特集〉キハ40系の現況

■表紙 キハ47 84以下2連の山陰本線247D……………仮屋昭典

松崎一倉吉 2018-4-2

## ■グラフィック

キハ40系は今 (1~8ページ)

福田静二・尾崎 渉・石原裕紀・宮城浩志・三浦 衛  
中山博康・飯塚卓治・杉本孝之・川波伊知郎・森 友紀  
……………白井明王・藤木正成・金子 聡・下嶋一浩・松浦広明  
赤座安彦・山口 徹・遊川 清・仮屋昭典・小野啓一  
田中信吾・渡邊裕太郎

キハ40系 Special version (100~105ページ)

……………千葉恵一・加藤和毅・山中 茂・眼目佳秀・川地伸一ほか

\*

キハ40系座席配置のバリエーション……………解説：西脇浩二… 48

JR九州の強力型キハ40系……………写真：佐藤利生・川地伸一ほか… 52

JR西日本のキハ40系“トップナンバー”コレクション

……………構成：編集部… 56

キハ40系で振り返る只見線……………構成：編集部… 58

北海道のキハ40形……………写真：服部朗宏・寺島修平ほか… 92

ミャンマー・マンダレー地区のキハ40系 13両……………増田 理人… 94

\*

Pictorial Color Gallery さらば愛しの5扉車……………勝二 達也… 97

東武鉄道・東京地下鉄日比谷線「THライナー」運転開始  
／東京地下鉄日比谷線に新駅「虎ノ門ヒルズ」開業／JR  
東日本渋谷駅改良工事埼京線・手山線ホーム並列化ほか 106~107

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………108

阪急電鉄のヘッドマーク 2019年度版……………竹内 宗隆…116

連載・昭和の鉄景(第44回)……………椎橋 俊之…120

## ■本文

今月の話題：キハ40系の現況……………編集部… 9

西日本地区のキハ40系……………西脇 浩二… 10

JR東日本キハ40系 近年の動向と現況……………平石 大貴… 23

北海道におけるキハ40系の軌跡と現在……………服部 朗宏… 61

\*

鉄道の話……………編集部… 96

書評(665)『旅行ガイドブックから読み解く

明治・大正・昭和 日本人のアジア観光』……………三木 理史…121

ミャンマー・マンダレー地区のキハ40系—2017.3~2020.3—

……………増田 理人…122

北海道廃線区間のキハ40系編成記録……………三宅 俊彦…127

5月のメモ帳……………136

追悼・青木栄一先生……………高嶋 修一…137

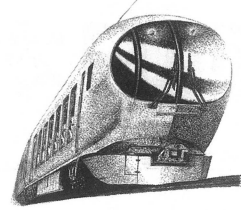
読者短信・情報ファイル……………139

後部車から……………140

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

## キハ40系の現況

近年、JR各社の在籍車両の中で、いわゆる「国鉄形」と称されるようになったグループが注目を浴び、人気を博している。機関車ではEF65形やDD51形、DE10形など、電車では485系や185系、115系や117系、211系、415系、103系、201系といったところが、その代表と言えようか。すでに寝台客車や一世を風靡した寝台電車583系、183・189系、165系、451系電車などJR化後も存続した多数の系列が惜しまれつつ消滅した。今日も在籍を続けている国鉄形車両も、形式・両数ともに、近年ではかなりその数を減らしている。かつての動力近代化時代、各地で引退が相次いでいた蒸気機関車を追った「SLブーム」に見られるように、退役しつつある車両に思いが集中するのは、今も昔も同じで、活躍した歴史が長いこともあり、消えゆく国鉄形への感慨も深まり、注目が集まるのは当然なのである。

こうした国鉄形車両において、気動車ではキハ183・185系、九州地区に配置のキハ66・67形、そしてキハ40系、および国鉄末期に登場したキハ54形、32形などが走り続けている。いずれも各社で開発・導入が進むハイブリッドなどの技術を駆使した新形式車に置換が進みつつあり、年々減少の一途である。その中で1977(昭和52)年に初登場し総数888両が新製されたキハ40系は、国鉄が全国的に大量投入した最後ともいえるグループで、ローカル線を中心に地域の利用者、多くの鉄道ファンにも親しまれた車両である。JR東海では退役したが、その他の各社では淘汰が進みつつも私鉄譲渡車を含め今も約650両が現役で、国鉄形系列では最大勢力を保っている。キハ40系は経年をかさねる中で、各種改造による車両ごとの形態変化も複雑で、車両研究のうえでも興味に事欠かない存在であり、少しでも長い活躍を願わずにはいられない。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda  
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan